

新技術・情報名	桑椹(実)品種について		
実施場所	三重県農業技術センター	分類	③

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

現在桑栽培においては、桑葉収穫のみで桑椹の利用はなされていない。
そこで、桑樹の多用化利用を図るため、「ビックスマルベリー」「フィッカス」「万国桑」等の桑葉収穫と桑椹収穫の両方を養育することのできる多椹品種の栽培を検討したところ、「ビックスマルベリー」「フィッカス」では桑椹収穫量が100顆平均で、ノ類の1.7倍、「万国桑」では1.4倍あり、ワイン、ジャム等の加工原料として利用でき、桑椹収穫後の桑葉も利用できる。

2) 技術・情報の適用効果

桑椹の収穫時期は毎年春期の気候に支配されるが、桑椹が初熟するのは平年値で5月下旬、終熟は6月中旬であるので、この頃を上蒔の目標として春蚕期2回目を掃立て、桑椹を収穫してから桑葉を利用する。

3) 適用範囲

全国 養蚕農家

4) 普及指導上の留意点

菌核病にかかりやすいので、防除法の検討が必要である。

2. 具体的データ (図表)

表1. 昭和62年春蚕期の桑椹及び桑葉収穫量 (植え付け2年目)

項目	品種	—ノ類	ビックスマルベリー	フィッカス
桑椹収穫量		—	1,990	1,270
桑葉収穫量		8,770	3,600	2,500

(一株平均 単位: g)

表2. 昭和62年春蚕期の桑椹一類当たりの重量

項目	品種	—ノ類	ビックスマルベリー	フィッカス	万国桑	米国13号	師走桑
桑椹1顆重量		1.90	3.40	3.40	2.70	1.70	0.96

(100顆平均 単位: g)

3. その他特記事項

研究課題名 桑樹の多用化利用試験

期 間 昭和60年～65年

予算区分 果 単